

「子どもたちの安全」というテーマで話し合いをするにあたり、3つの質問を提示しました。

- ①お子さんが、夜10時にコンビニで友人と待ち合わせの約束をしてきました。あなたはどうしますか？
- ②お子さんが、親が面識のない友人と外泊の約束をしてきました。あなたはどうしますか？
- ③夜11時に、あなたの知っている同級生の子どもたちをコンビニで見かけました。あなたはどうしますか？

各校母親委員長6～9名のグループ(計7グループ)に分かれ、①～③の質問について意見交換を行った後、各グループの代表者が、質問①～③に対して出された意見を発表しました。

以下は、各質問についての意見です。

①について

- ・頭ごなしに禁止するのではなく、話を聞く。
- ・相手と連絡を取るか、一緒に行く。
- ・なるべく制止する。
- ・日頃から家庭のルールを話し合っていれば、このようなことは起こらないと思う。

②について

- ・突然の外泊は断る。そのまま家まで送る。
- ・相手の親に連絡して確認をとる。
- ・学校の先生にそれとなく相談する。
- ・親が面識のない友人との外泊は許可しない。
- ・子どもが小学生の頃から、家庭のルールを決めておく。
- ・夫婦で意見が違ふことのないよう、話し合っておく。

③について

- ・人数やメンバー構成によって、声をかけるかどうか判断する。
- ・心配していることを伝える。
- ・頭ごなしに怒るのではなく、「親はどうしたの?」「何しているの?」「補導されるよ」などと声をかける。
- ・翌日、学校に連絡する。

我が子はそんなことはしない、現実的ではないという意見もありましたが、今の子どもたちの置かれている状況・環境を考えると、決して他人事ではありません。

どのグループも活発な意見交換と情報交換が行うことができました。

最後に、市P役員の校長・教頭先生から、各グループの発表を聞いた感想と先生方から見た今の子どもたちの様子などを話していただきました。